

## 広域観光・文化振興の推進について

平成23年12月10日

広域観光・文化振興局

## 目 次

1 「関西観光・文化振興計画」の策定等 .....	1
2 海外観光プロモーションの実施 .....	2
3 基盤整備の推進 .....	3
4 山陰海岸ジオパーク活動の推進 .....	3
5 その他の取り組み .....	4

## 1 「関西観光・文化振興計画」の策定等

### (1) 「関西観光・文化振興計画」の策定

関西を魅力ある観光圏としていくため、関西が一体となって戦略的に取り組むべき重点分野、事業、目標等を定める観光・文化の振興ビジョンを策定する。

#### ○関西観光・文化振興計画策定委員会

##### ・委員会の開催状況

第1回 5月19日(木)

第2回 7月6日(水)

第3回 12月中の開催を予定

##### ・策定委員

大橋 昭一 和歌山大学名誉教授 <座長>

アレックス・カー 東洋文化研究者

坂上 英彦 京都嵯峨芸術大学芸術学部観光デザイン学科教授

橋爪 紳也 大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授

畑山 美和子 朝日新聞東京本社 be編集長兼夕刊フィーチャー編集長

平岩 孝一郎 (社)日本ホテル協会常任理事

福島 伸一 関西国際空港(株)代表取締役社長

船山 龍二 (社)日本観光振興協会副会長

#### ○パブリックコメントの実施

##### ・計画中間案に係るパブリックコメントを実施。

募集期間 9月1日～9月30日

募集結果 13名から延べ20件の意見・提言

#### ○KANSAI統合型リゾート研究会

##### ・計画中間案に掲げる「KANSAI MICE」の実現を目指す上で、その中核をなす統合型リゾートについて関西としてどう考えていくのかに関し、専門家を交えて幅広く研究。

##### ・研究会開催状況

第1回 11月7日(月)

第2回 11月24日(木)

##### ・研究会メンバー

橋爪 紳也 大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授 <進行役>

秋山 元秀 滋賀大学教育学部社会科教育教授

山 愛美 京都学園大学人間文化学部心理学科教授

白石 武夫 兵庫県青少年補導委員連合会会長

戸祭 達郎 成美大学学長

美原 融 大阪商業大学客員教授・同アミューズメント産業研究所所長

中條 辰哉 大阪商業大学アミューズメント産業研究所研究員、特別教員

広域観光・文化振興局長、各参与

○計画策定に係る今後の予定

- ・計画案最終とりまとめ、連合委員会への最終案報告（1月）
- ・連合議会への最終案報告（2～3月）
- ・計画策定（3月）

(2) 広域観光ルートの設定

関西をひとつのマーケットとして、成長著しい東アジア等をメインターゲットに、関西の魅力ある観光資源を有機的につなぐ観光ルートを設定し、外国人観光客の関西への誘客を図る。

○これまでの取り組み

- ・タスクフォースにおいて、周遊・滞在型のルートについて検討を進めるとともに、関係団体とも意見交換を実施。

○今後の予定

- ・テーマを示しながら広域観光ルートを「関西観光・文化振興計画」の中に盛り込むとともに、プロモーション等において、対象国・地域のニーズに応じて提案を行い、関西観光をアピールしていく。

## 2 海外観光プロモーションの実施

(1) 中国プロモーション

東日本大震災の発生以降訪日観光客が激減する中、関西広域連合として初のトッププロモーションは、6月2日の邵琪偉中国国家旅遊局長（観光大臣）の関西訪問等への返礼と交流の具体化として、また、震災復興の観点から関西経済・観光の維持振興のキックオフともなるよう関西経済界等と連携して実施。

○訪問先 中国 北京市及び上海市

○日程 7月20日（水）～23日（土）

○参加者 連合 井戸 連合長 <団長>

山田 広域観光・文化振興担当委員

各構成府県知事等

経済界 関西各団体代表

その他 商談会等に参加するホテル・観光施設等事業者

○行催事

20日 北京市：王岐山國務院副総理（観光担当）表敬訪問

中国メディア、旅行社を対象とするフォーラム及びレセプション

21日 北京市：邵琪偉中国国家旅遊局局長（観光大臣に相当）表敬訪問

22日 上海市：韓正上海市長 表敬訪問

観光セミナー：中国側旅行社・メディア対象とする観光セミナーのほか、商談会、記者会見、交流レセプションを実施

## (2) 韓国プロモーション

訪日観光客について東日本大震災以後の激減から徐々に回復してきたものの、韓国ではその動きが鈍く、また円高での敬遠も懸念される中、関西への誘客を図るため、官民が連携して、関西の安全や魅力ある観光資源のアピールを実施。

○訪問先 大韓民国 ソウル市

○日程 9月18日(日)～20日(火)

○参加者 連合 山田 広域観光・文化振興担当委員 <団長>

鳥取県副知事

経済界 関西広域機構、関西経済連合会ほか

○行催事

19日 ソウル市：イ・チャム韓国観光公社社長表敬訪問

メディア・旅行社を対象とする観光セミナー、レセプション

20日 ソウル市：モ・チョルミン韓国文化体育観光部第一次官表敬訪問

## 3 基盤整備の推進

### (1) 「通訳案内士」(全国)の登録等

各構成府県で行っている通訳案内士(全国)の登録に関する業務について、広域連合が一元的に管理することにより、効率的な事務の実施を図ることとし、平成24年度からの事務集約に向け府県との調整等の諸準備を行う。

### (2) 「関西地域限定通訳案内士(仮称)」の創設

訪日外国人旅行者に対して府県を越えて関西地区全般の案内が行える通訳案内士の創設に向け、制度の検討・設計や関係者との調整等の諸準備を行う。

### (3) 関西全域を対象とする観光統計調査

関西圏域における観光動向を把握し効果的な誘客の取り組みを企画・実施するため、国や各府県で実施している統計調査の分析・検証を行い、関西全体の観光動向を把握できる統計手法の開発を目指す。

### (4) 関西全域を対象とする観光案内表示の基準統一

訪日外国人観光旅客等の広域観光の利便性の向上のため、観光案内表示に関する情報収集・分析を行い、関西全体の案内表示に関する指針の策定を図る。

## 4 山陰海岸ジオパーク活動の推進

関西における広域観光連携のモデル的な取り組みとして、山陰海岸ジオパークの認知度の向上などの取り組みを重点的に実施することとしており、海外では中国及び韓国でトッププロモーション(中国;7月、韓国;9月)において山陰海岸ジオパークについてアピー

ルしたほか、国内では京阪神主要駅などでプロモーション活動を実施した。

また、「関西観光・文化振興計画」で定める広域観光ルートにジオパークを盛り込むとともに、プロモーション等により外国人観光客の誘客を図る。

## 5 その他の取り組み

### (1) 東日本大震災への対応

#### ○「当面の観光に関する関西広域連合の取組について」

- ・ 4月12日メッセージ発出
- ・ 観光庁長官からの「当面の観光に関する取組について」(通知)を受け、同時発出
- ・ 日本の観光産業が瀬戸際に追い込まれつつある中、関西広域連合として、プロモーション等に積極的に取り組むことを表明するとともに、関係団体へ協力を要請。

#### ○観光庁長官に対する「復興を支えるための観光推進に関する緊急要望」

- ・ 4月19日、山田担当委員から観光庁長官に直接要望
- ・ 国内観光を活性化させるキャンペーンや訪日旅行客の誘客を図る先導的な海外プロモーション、訪日外国人旅行者の安心感につながる情報発信等について要望。

### (2) その他

#### ○「古典の普及及び振興に関する法律の制定について」

- ・ 10月26日、文化庁に対して提案
- ・ 古典の普及及び古典を活用した文化の振興についての法律を制定し、国民が広く古典に触れ親しむ日として、11月1日を「古典の日」と定めることなどを提案